

中期標準化戦略(概要と目的)		専門委員会・AG名	ICTと気候変動SWG	1/3		
企画戦略委員	神保 光子(NEC)	登録委員数	12			
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	リーダー 原 美永子(NTT)	担当するSG・WP等	ITU-T SG5 WP2/3			
活動の目的・意義 ・めざすゴール	<ul style="list-style-type: none"> ICT設備のエネルギー効率の評価やスマートエネルギー実現要件、廃棄物削減への各種要件の整理、評価方法の構築に加え、ICTを活用することによる環境貢献の評価方法を構築などにより、ICT自らの環境負荷低減や他セクタへ与える環境貢献を訴求するとともに持続的な社会実現に貢献する。 環境課題への貢献の定量化手法は、その妥当性の検証が困難であり、標準化の枠組みにて、国際社会間での合意を形成することが有効。 	活動体制の図解 (専門委員会/SWGと対応するSG/技術トピックス、関連する団体等)				
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルだけでなく、資源循環、生物多様性などの目標設定がすすめられており、その達成度や貢献を示すための定量化手法が望まれているが、気候変動の緩和を除いて、その貢献量を定量化する手法・技術が未開発の状況。 そのため国内で新たな評価手法が開発された場合はいち早くアップストリームするとともに国外で有益手法があれば速やかにダウンストリームするなど、情報を流通させることが必要。 					
関連のSDGsゴール						
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG5 WP2, 3に向けた自然環境、気候変動対策および循環経済に関する国際標準への提案活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> - 日本からの新たな提案案件の探索 ITU-T SG5 WP2, 3における、標準化動向の調査および、対応・対策 特に新興技術 (AI、グリーンソフトウェア等)に関する標準化議論の調査・分析 国内におけるITU-T SG5 WP2, 3に係る取り組みや勧告活用のための啓発活動 				(別紙:ICTと環境に関する標準化団体)	
国内外の標準化団体等の動向	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG5 WP2, 3, SG17, JCA-AHF, JCA- IMT, ICA-ML, JCA-Res178, JCA-HN, SCV, CASC, FG-AI4NDM, ITU-D SG2, ITU-R SG1, SG6, WP5A・5D, WP1B・1C ISO TC 323, ISO/TMB/CCCC, ISO/IEC JTC1/SC 39 IEC ACEA, SyC LVDC, TC100 TA14, TC21, TC 111, TC120 CEN/CENELEC/ETSI CG GDC・SF-SSCC, CEN/CLC/JTC 10・JTC21, CEN-CENELEC (SABE), ETSI TC EE, CEN-CENELEC Eco-CG, CENELEC TC210・TC106X・TC215, ECMA TC38, ETNO, EU JRC IEEE PES SPDC, 3GPP TSG SA5, Connect Europe, CIGRE, Green Digital Action WHO 					

フォーラム



国際標準化機関



要求条件提示
規制

仕様提案

要求条件提示
規制

仕様提案

地域標準化機関



活動参加
仕様参照

<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<p>気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関わるテーマを中心に、標準化対応および成果普及を重点的に進める一方で、国内の優良事例(省資源化技術)について寄書化2件およびソフトウェア製品向けCO2排出量評価に関するガイドラインについて寄書化1件。</p>			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<p>IoT・スマートシティ専門委員会(循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築)</p>			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2025年度目標(当初計画時)</p>	<p>2025年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>0件</p>	<p>3件</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>SG5会合:2回(想定)</p>	<p>SG5会合:2回</p>	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>			
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS: 0回 TR: 0回</p>	<p>TS制定: 0回 TR制定: 0回</p>	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCLレポート活動報告</p>	<p>TTCLレポート活動報告(6月SG5会合報告)</p>	

重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 日本としては引き続き、気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関わるテーマを中心に、標準化対応および成果普及を重点的に進めることとする。 			
新テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ICTとGX・SDGs 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> IoT・スマートシティ専門委員会(循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築) 			
主な活動項目	概況指標	2026年度目標(当初計画時)	2026年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件	-	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG5 WP2/3 (2026年6月)		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会			